

令和7年度 滝頭地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性	
地域の現状として、起伏の多い地域であり地域ケアプラザに気軽に通うのも高齢者にとっては難しいところがあります。また、地域包括ケアシステムの構築については初期段階にあります。 今後の方向性として、従来どおり積極的に地域に出向き、顔の見える関係作りを引き続き行います。また学校関係者等との連携を深め、生徒や保護者にも地域ケアプラザの周知を図ったり、広報誌や事業のチラシの配布場所を拡充します。地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域関係者や区役所・区社協・介護保険事業所などとの繋がりを強め推進を図ります。	
☐ 今年度の重点的な取組	
新規	継続
—具体的な取組内容—	
■	☐
多職種連携し情報を集めながら、地域活動に出向き新たな支援者となって頂けそうな方を発掘。また支援者となって頂けそうな方を区のフレイル予防サポーター養成研修等にお誘いし、活動の場に繋がる様支援する。また地域の方が活躍できる講座の事業を企画する。	
■	☐
今年度は、男性支援者がいよいよウォーキングサポーターとして地域の方々を入れウォーキングの事業化を行っていく。	
■	☐
チームオレンジの取り組みとして、認知症サポーター養成講座後のステップアップ講座を開催する。介護の当事者でもある保健師を講師に招き、「認知症の方への支援」を講義頂く。講座参加者から新たにオレンジボランティアとして活動してくれる人を増やす。	
■	☐
医療依存が高い方や終末期ケアが必要なケースについて、ケアマネジャーから相談があった場合には、サービス担当者会議やカンファレンスの開催を積極的に促し参加し、チームケアとなるよう働きかける。	
■	☐
滝頭地区においては子ども大人も含め、滝頭連合で取り組める事業を行えるよう支援をしていく。岡村地区については個人宅の提供なども含め居場所づくりに視点をおき、地域でのサロンなどが活発になるよう関係機関と協働していく。	

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り
認知症サポート養成講座に参加した講座後アンケートでボランティア活動を行ってみたいの項目にチェックをいれてくれた方が和みカフェのボランティアに加わって下さった。また花笑みの会の活動に見学～手伝いといった形から参加下さっている。ウォーキングサポーターのダンディ倶楽部の活動は一步踏み出し自分達が企画したコースを地域一般の方を募集してウォーキングイベントの活動を行い企画運営を行った。男性の社会参加の場としても機能し新たな通いの場ともなっている。また区役所で行われたフレイル予防サポーター養成講座では参加者候補になりそうな方を地域活動などに出向き声かけを行い参加下さった方も沢山いた。養成講座に参加した際には現在活動している“はれやか”の候補になってくれそうな方に見学のお誘いをした。12月にははれやかを見学参加くださり、見事メンバーになりたいと3人だった“はれやか”にメンバーが1人加わった。支援者になってくれそうな方を地道に声かけし支援者やボランティアを増やす努力も行ってきた。
☐ 区からのコメント
第5期地域福祉保健計画の策定にあたり、地域の方に寄り添う丁寧な調整・諸団体等とスムーズな連携など、ケアプラザと地域の繋がりの強さを改めて感じ、様々な主体と協働し策定を進めていくうえで非常に重要な役割を果たしていただきました。また、日常業務の中でも小さなきっかけもチャンスとして捉え、地域活動に関わる人を増やしていく取組をいただいていることがわかりました。 山坂の多い地域特性を踏まえた通いの場の立上げや、男性ウォーキングサポーターへの後方支援など、担い手の確保・育成と参加機会の広がりに向けて着実に取り組まれています。チームオレンジの活動においても、地域ケア会議の機能を効果的に活かしながら、認知症の方を含め誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて、多職種が連携しながら推進されています。今後も、ケアプラザ全体での連携の体制をさらに深めつつ、各種取組の継続的な発展を推進いただければ幸いです。